

鳥類

最新(H24年度)の河川水辺の国勢調査では、14目30科83種の鳥類が確認されています。このうち重要種(絶滅が危惧されている貴重な生物)は、11種です。五ヶ瀬川(調査範囲)は、砂浜や河畔林、ヨシ原、礫地など、多様な環境が分布しており、様々な鳥類が生息場・休息場として利用している姿がみられます。川幅の広い下流では、人が近づくのを警戒するカモ類の生息場となっています。五ヶ瀬川の下流に位置する河畔林は、昔からサギ類の集団繁殖地となっています。人が近づけない場所であり、サギ類の安住の場所となっています。その他、市街地近くではムクドリ、管理された草地ではヒバリなどが生息しています。

五ヶ瀬川における鳥類の確認状況

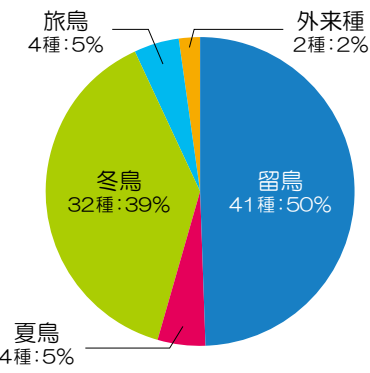


図 渡り区別別の確認種数

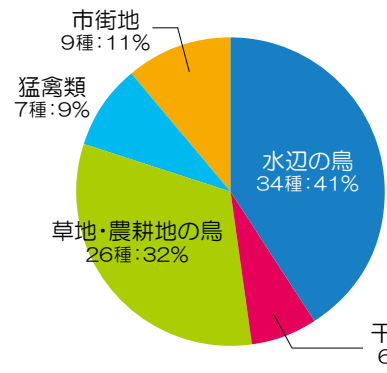
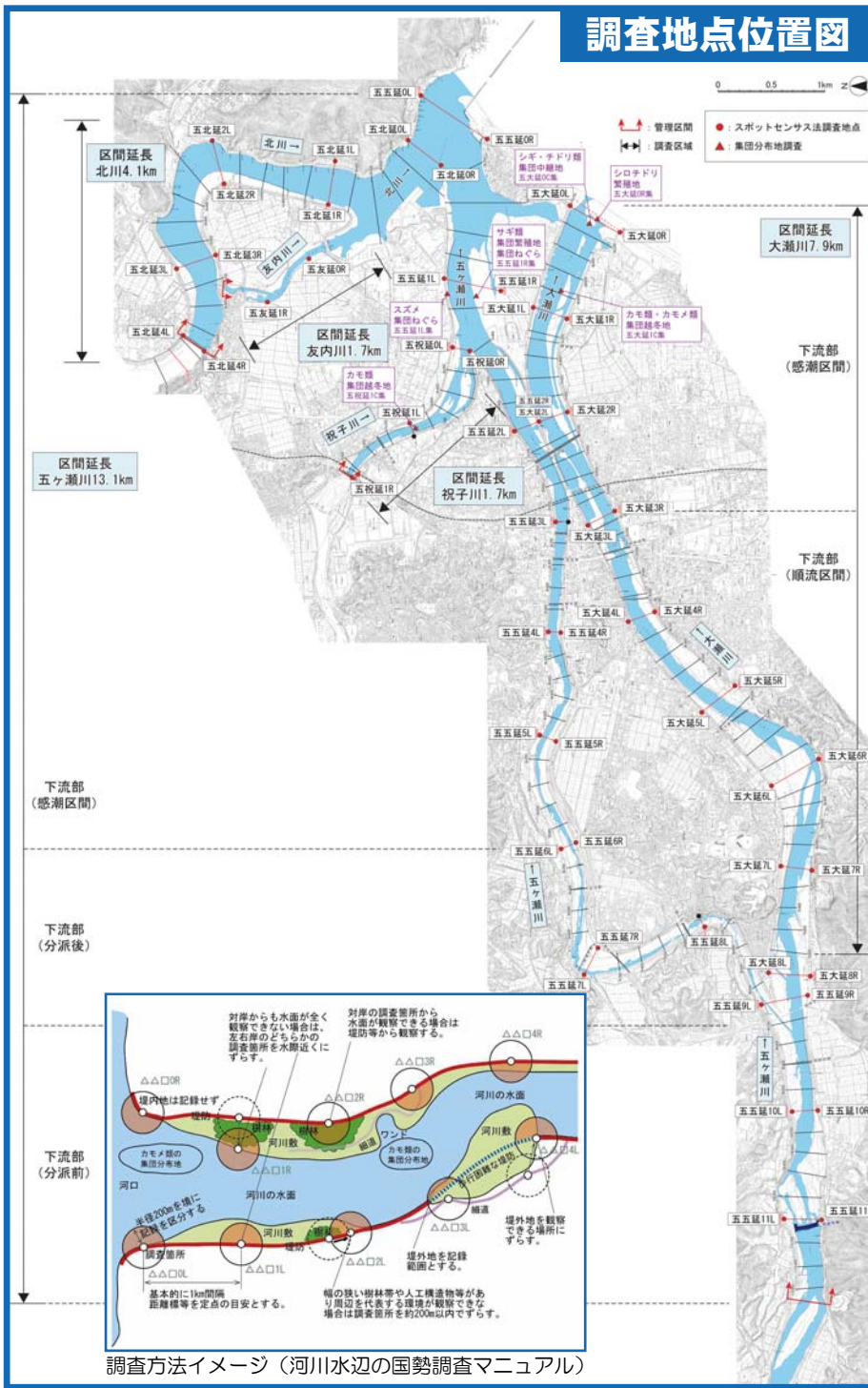


図 生活区別別の確認種数

ハビタット(生息環境)



五ヶ瀬川水系に生息する希少な鳥・特徴的な鳥

※夏鳥…春に日本より南の地域から渡ってきて繁殖し、冬はまた南に戻る鳥
冬鳥…秋に日本より北の地域から渡ってきて冬を越し、春にまた北に戻る鳥



種名:シロチドリ

環境省 RL: UV 絶滅危惧Ⅱ種
宮崎県 RL: NT-g 準絶滅危惧

海岸の砂浜や河口の干潟、河川の砂洲などで繁殖する。額(ひたい)から眉斑(びはん)は白く、後頭と体の上面は灰かっ色。ピュル、ピュルと泣く。
※眉斑…目の上の眉あたりの線



種名:チュウサギ

環境省 RL: NT 準絶滅危惧

サギのコロニー内でも確認。主に水田や湿地でえさを採る。嘴(くちばし)は、夏は黒で、冬は黄色で先だけが黒い。体は白色。コサギより大きい。



種名:コサギ

サギのコロニー内でも確認。水田、湿地、川、湖沼にすむ。嘴(くちばし)は長くて黒く、足は黒くて足の先は黄色いのが特徴。ゴアーツ、ゴアーツと鳴く。チュウサギより小さい。



種名:オオヨシキリ

ヨシ原の草原を好んで生息する夏鳥。体の上面はオリーブ黄かっ色で、下面は白。ギョギョシ、ギョギョシ、ケケシケケシ、カチカチと鳴く。



種名:ツリスガラ

河口、川岸、海岸のヨシ原に渡来する冬鳥。小さくて、嘴(くちばし)はとがる。雄は頭が灰色で、白い眉斑(びはん)と目の黒い線が目立つ。雌は頭も目の線もかっ色。背中が赤かっ色。チーチーと細い声で鳴く。



種名:ツクシガモ

環境省 RL: UV 絶滅危惧Ⅱ種
宮崎県 RL: EN-r 絶滅危惧ⅠB種

広い干潟や海岸近くの水たまりなどにも生息する。冬鳥。雄の頭部と上あごは緑っぽい黒。体は白。肩と胸からおなかを通る線が黒い。



種名:カワウ

海、湖沼、河川に生息する冬鳥。もぐってしっぽを上手に使って魚をとる。体は黒く、くちばしのつけ根は、黄色で、そのまわりは白い。



種名:ミサゴ

環境省 RL: NT 準絶滅危惧
宮崎県 RL: NT-r 準絶滅危惧

海や湖沼、河川などの広い水面で魚を上空から見つくと、ダイビングして捕まえる。年中みられる。翼は細長くて、尾は短い。頭は白くて、目のまわりに黒い線がある。チツ、チツと細い声で鳴く。



種名:ハヤブサ

環境省 RL: UV 絶滅危惧Ⅱ種
宮崎県 RL: NT-r 準絶滅危惧

調査地点近くの崖地で繁殖を確認。えさ運びをする姿も確認した。高速で飛び、飛んでいる鳥を足でつけて捕まえる。尾は比較的短く、頬の黒色が目立つ。お腹に黒の縞もようがある。